

迎撃大会 鷹巣 実業団バレーボールリーグ全国大会



実業団バレーボールの 高度なテクニックに陶醉

新春の幕明けにふさわしいメインイベント「実業団バレーボールリーグ鷹巣大会」が1月17日鷹巣体育館で行われました。

日本のトッププレーヤーの高度な試合テクニックに陶醉した1,500人の観衆は、トス、スパイク、レシーブの応酬に、歓声とため息がもれ、風雪が舞う真冬日にもかかわらず、館内は熱気が漂っていました。

結果は男子が神戸製綱3—1日本電気、女子は日立茂原3—0三洋電機。

人口と世帯数

住民基本台帳による)

12月31日現在	(前月比)
総人口 25,497人	(3人増)
男 12,461人	(8人増)
女 13,036人	(5人減)
世帯数 7,206世帯	(7世帯減)

臨時町議会

天災融資の利子補給

天災資金1億9千万円 自作農資金1億6千万円を農協へ配分

昨年の冷害による被害農家を救済するため、天災融資法が適用され、当町に一億九千万円の天災資金が配分されましたが、利子補給を町と県で行うことから、一月十八日午前十時から臨時町議会を開き、債務負担行為補正を審議。結果は原案どおり可決されました。

昨年の八月から十月までの低温、台風による天災被害農家に対して、資金を融資する天災融資経営資金一億九千万円が町に配分されました。

町では、資金貸付けにともない利子補給が義務づけられていることから、臨時議会を開いて債務負担行為補正を審議したものです。

天災資金の内訳は、特別被害資金一億五千万円、一般被害資金四千万円。一農家の貸付け限度額は特別・一般のいずれかのうち二百万円で七年償還となっています。

利子補給は、特別被害資金が、県四・九五割、町一・〇五割で個人負担三割の低利息となっています。一般被害資金は、県二・九六二五割、町〇・九八七五割を利子補給し、個人負担五・〇五割となっています。

利子補給期間は、五十七年度から六十三年度までの七年間で、町は計七百四十六万三千円、県は計三千二百五十九万九千円を補給するものです。

審議の結果、原案どおり可決され二月一日より貸付けされることになりました。

ほかに、自作農資金一億六千二百万円(利息四・六割、限度額二百五十万円)も当町に配分され、急場をしのぐ農業経営に役立てる

ことになりました。それぞれの資金は、次のとおり農協へ配分しましたので、希望者は最寄りの農協へ申し込みしてください。



- ▼(河川災害復旧工事)
 - ▼工事場所 田の沢川左右岸(綴子字田の沢一号地内) ▼請負額 八百万円 ▼請負者 石川建設・石川徳治 ▼工事期限 三月二十一日
 - ▼工事場所 田沢川右岸(栄宇岩堰根四号) ▼請負額 四百三十三万円 ▼請負者 大川建設・大川仁吉郎
 - ▼工事場所 馬屋沢川左岸(黒沢字孫六倍二号) ▼請負額 四百六十九万円 ▼請負者 北秋建設 渡辺昌
 - ▼工事場所 田沢川右岸(栄宇田沢口一号) ▼請負額 七百五十五万円 ▼請負者 石川建設・石川徳治
 - ▼工事場所 小摩当川左右岸(栄

- ▼鷹巣農協 特別資金九百万円、一般資金二百四十万円、自作農資金千七百七十万円
- ▼西部農協 特別資金四千三百五十万円、一般資金千六十万円、自作農資金二千六百九十八万円
- ▼綴子農協 特別資金二千七万円、一般資金七百二十万円、自作農資金三千五百五十万円
- ▼沢口農協 特別資金三千七十五万円、一般資金八百二十万円、自作農資金三千九百九十三万円
- ▼七日市農協 特別資金二千四百七十五万円、一般資金六百六十万円、自作農資金三千二百十四万円
- ▼字彦十郎谷地) ▼請負額 四百七十万円 ▼請負者 秋田機械建設・知野次郎
- ※工事期限は、いずれも三月二十四日まで。

- ▼(河川工事)
 - ▼工事場所 田の沢川(綴子字田の沢) ▼請負額 百一十万円 ▼請負者 石川建設・石川徳治 ▼工事期限 三月二十一日
 - ▼(農業災害水路復旧工事)
 - ▼工事場所 綴子字孫兵卫地内 ▼請負額 四十四万円 ▼請負者 東園土木・村上祐治
 - ▼工事場所 栄宇田沢口地内 ▼請負額 八十五万円 ▼請負者 山耕土木・山田耕三
 - ▼工事場所 脇神字影堀地内 ▼請負額 二十万円 ▼請負者 宮野建設・宮野岩男
 - ▼工事場所 脇神字陣場谷地内 ▼請負額 二十五万七千円 ▼請負者 松橋建設・松橋政男
 - ▼工事場所 脇神字武士沢地内

町長日誌

- 1月1日~1月15日 ぱりじよつこ大会
- 1日 綴子地区新春交流会
- 4日 交通指導隊査閲出初式
- 5日 出稼き者激励会
- 5日 竜森地区新春交流会
- 6日 商工会部新春交流会
- 6日 建設技能組合定期総会
- 8日 公民館運営懇談会
- 8日 商工会新春懇談会
- 11日 猟友会役員会
- 12日 商工会青年部新年懇談会
- 13日 特定地方交通沿線市町村長会議、鷹角線敷設期成同盟会総会、秋田市校長・教頭研修会
- 14日 新春芸文懇親会

- ▼請負額 九十三万円 ▼請負者 千葉建設・千葉勲
- ▼(農業災害水路、頭首復旧工事)
 - ▼工事場所 脇神字奥小ヶ田A・B地内 ▼請負額 七十九万円 ▼請負者 小猿部建設・関竹雄
 - ▼(農業災害水路、田復旧工事)
 - ▼工事場所 坊沢字福田地内 ▼請負額 五十九万円 ▼請負者 沢木建設・沢木和雄
 - ▼工事場所 脇神字中俣地内 ▼請負額 百二十五万円 ▼請負者 畠山建設・畠山鉄雄
 - ▼(農業災害溜池復旧工事)
 - ▼工事場所 脇神字上金堀地内 ▼請負額 九十七万円 ▼請負者 丸栄建設・山内千代治
 - ※工事期限は、いずれも三月二十日まで。

水田再編対策協議会を開催

冷害を考慮し四七四ヘクタール転作

二月二十日まで農家に仮配分

稲作は、異常低温、台風、害虫発生などで二年続きの減収となり、農家では大打撃をうけ、水田利用再編対策については軽減措置を講ずるよう国に要請してきましたが、このほど県から冷害を考慮した転作目標仮配分面積四百七十四畝（転作率一六・二割）が示されました。町では一月二十日に水田再編対策協議会を開き、配分方法等について協議しました。その結果、転作目標面積の配分については、二月二十日まで各農家別に明細書を付して各集落ごとに仮配分し、同時に各農協別に説明会を開催して、農家の協力を得、四月中旬の正式配分に向けて作業を進めていくことになりました。



当町の水田利用再編第二期（五十六年から五十八年までの三カ年）の転作目標面積は五百三十九畝ですが、五十七年度の水田利用再編対策については、二年続きの冷害という厳しい実情をふまえ、被害に際した軽減措置（五十六年度町では四十三畝軽減）がとられるよう、町では、県や農業団体と一体となって、国に強く要請してきました。その結果、全国的には五十六年度と同様の軽減面積で凍結の措置がとられましたが、秋田県に対しては、五十六年度分に六百四十畝上乗せし千六百畝の軽減措置がと

られるようになりました。したがって当町では、五百三十九畝から、五十六年度軽減面積四十三畝と五十七年度軽減面積二十二畝の上乗せとなり、四百七十四畝が五十七年度転作目標面積と

となります。また二十二畝にたいする限度数量は、百三十七・五二（六十）入れて二千二百九十二俵）が増加配分されます。二十日に開催された水田利用再編対策協議会には、町、議会、農委、各農協などから代表者が出席。先に県から配分された転作目標面積、売渡し申し込み限度数量の説明のあと、配分の方法について協議しました。

協議の結果、転作目標面積の配分については①軽減面積は五十六年度軽減配分方法と同一とし、各集落の合計目標面積より同率で軽減し仮配分する②正式配分に当っては、調整後の目標面積によって同率で軽減し配分することにし

ました。以上の配分方法をふまえ、各農協別の五十七年度転作目標仮配分面積は次のように決定しました。▽栄農協〓四十五・五五畝▽鷹巣農協〓二十二・二八畝▽西部農協〓九十・五八畝▽綴子農協〓百二十二・一一畝▽沢口農協〓九十九・六一畝▽七日市農協〓九十三・八七畝▽合計〓四百七十四畝。

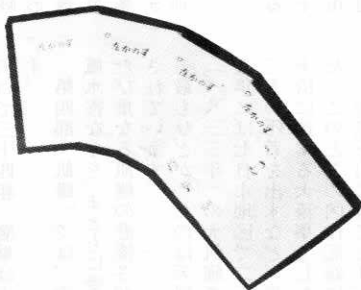
また、五十七年度産米の売渡申込限度数量の配分については、①第二期対策により算定された第二期の農業者別限度数量に、五十七年度の特例措置による目標軽減面積に比例配分した数量を加算する②加算数量はうるち米で配分することになりました。



たかのすを製本してみませんか

「広報たかのす」は、町とみなさんをつなぐパイプ役として、多くの町民のご支援を受けながら四百七十三号を発行するまでにいたり、心からお礼申しあげます。ご承知のように、広報は月二回発行され、町勢の全容をみなさんに紹介しており、町の歴史資料として、各家庭で大事に保存されているようです。町でも、資料保存のためいままて発行された広報を年ごとに製本して、図書館や学校に備え付けしていますが、保存がよく見やすいことから、大変好評を得ています。

今回も、五十六年分を製本することになりましたが、この機会にみなさんが家庭で保存している「広報たかのす」についても、希望があれば実費（五百円）で製本のお手伝いしたいと思います。



発行年ごとに、一月一日号から十二月十五日号までおそろいで、製本を希望される方は一冊につき五百円を添えて、二月二十日（土）まで、町総務課広報係（二階）へお届けください。

健やかな成長を願って

第10回 鷹巣町保育園保護者大会



第十回町保育園保護者大会は一月十七日午前 三十分から、保護者、保母ら約五十人が参加して中央公民館で開かれました。

はじめに、亀山誠・町保育園保護者会連合会長から「保育園児の健やかな成長を願うため、当面する諸問題について情報、意見を交換し、保育事業の向上発展と保護者会相互の親睦・交流を深めたい」とあいさつ。そのあと出川長町、成田県議、米沢福祉事務所長から「社会に役立つ人間性豊かな子供を育てるため、保育園、保護者の役割を認識してほしい」と激励のあいさつがありました。

続いて、保護者を代表して山城よね子さんが「町内保育園の視察」保母の戸島千枝さんからは「花輪、小坂の保育園を視察」した報告を受けました。

阿仁町・宮原忠美氏の講演では「保育園は、家庭のみたしえない点、家庭と就労を面立させるためにあるものだが、単なる子守り役ではない。人間づくりの場である。三歳児までに八〇割人間形成され

るので、幼児は母親との触れあいが大切だ。保育料を出しているから、長時間あずからなければ損だと思えばだめだ。私の経験では、どんなに悪いことをした青少年でも、母親を思う気持は深く、反省して心を入れかえることからしても母親と接する時間をできるだけとるべきだ」と、子供と母親の触れあいを力説していました。

全体会議では、保護者のアンケートをもとに、▽保育開始、終了時間、▽祭典日の保育、▽春、お盆、正月の休園、▽保育料金などについて、話し合いがもたれましたが、園それぞれで実情が違うことから、意見を交換し、相互の理解を深めて、正午すぎ終了しました。

固定資産税第四期

納期限は：

二月末日まで

交通事故のご相談は お気軽にどうぞ

午前9時30分～午後4時30分(平日)
土曜日は正午まで

◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます。(無料)

◎弁護士相談日

毎週木曜日午後1時～4時

社団法人日本損害保険協会

秋田自動車保険 請求相談センター

秋田市中通3-2-44河北ビル5階
秋田調査事務所内

☎0188-32-3279(直通) 0188-33-7501

七日市出身の長岐喜代治氏

小猿部物語二巻を発行

七日市出身の郷土史家・長岐貴代治氏(七十歳・秋田市手形字西谷地93-1)が、県立図書館に保存されている「長岐文書」を解明して、小猿部物語の二巻目「検地帳・飢饉の巻」(A5版二百四十頁)をこのほど発刊しました。

内容は、第二部の「検地帳」によると、東北地方で現存する検地帳の中で、最も古い慶長十九年(一六四四年)の「七日市村検地帳」より、七日市本郷地域の姿が浮きぼりにされています。

第三部「先祖の探求」では、明治五・六年頃の戸数、人口が村ごとに記録され、集計すると七日市地区が三百一十軒(現在は六百四十七世帯)、二千二百四十四人(現在は二千四百一十人)で一軒平均七・二人(現在は三・七三人)。沢口地区は二百九十三軒(八百二世帯)、二千五十九人(三千二百三十一人)で一軒平均七・〇三人(四〇三人)。鷹巣地区は二百二十四軒(千三百七十六世帯)、千三百七十六人(八千八百九人)一軒平均六・一四(三・二〇)。

家族の人数は十五人が最高で、十人以上が七日市で四十九組、

沢口で三十四組、鷹巣は十組です。

第四部「飢饉」では、冷害害風水害などを、まともに受け、たび重なる飢饉の悲惨さが記録されています。

最もひどかったのは天保四年(一八三三年)の大飢饉で、翌五年には七日市地区で二百九十三人の死者を出すなど平常時の十倍に達する大惨事でした。また、このときの凶作記録によると、幼児を山に捨てたり、川に投げ捨てたり、津軽の流民が四千人も仙北方面へ逃げたり、夫が人を食うなど現代では考えられない悲惨さでした。

今回発刊された第二巻は、いずれの内容も、中学生でもわかるよう具体的にまとめられています。

購入を希望される方には千六百円で頒布されることになりましたので、町内の書店か七日市沢口、鷹巣の各農協でお求めください。



うま過ぎる話で

「インチキ内職」に注意

「簡単な作業で高収入」などという、うたい文句に誘われて内職を始めたものの仕事の内容や収入が約束と違う——いわゆる「インチキ」内職による被害が依然として後を断ちません。

新聞の折込みチラシや雑誌、広告など呼びかけ、家計の足しにと内職を希望する主婦を食いものにしている「インチキ」内職の手口には、次のようなものがあります。

▽内職講習会などといって多額の受講料などをとり、できた製品については、いろいろな条件をつけて買いたたいたり、買い上げを拒んだりする。

▽相当な額の収入が得られると宣伝し、高額な機械を市価の倍額ぐらいの値段で売りつけ、工賃の取り決めはあいまいである。

▽最近の傾向としてアクセサリー、印鑑等の通信販売用ダイレクトメールのあて名書き内職などで、入会金、保証金を徴収したり、報酬をダイレクトメールに対する商品の申し込み数に応じて支払うものが目立っている。

これらの場合、保証金等の返還条件が不明確なため、途中解約時に返還をめぐってトラブルが生じたり、報酬が申し込まれた数による歩合制のため、期待したほどの収入が得られなかったり、

実際の申し込み数が分からないなどの問題がある。

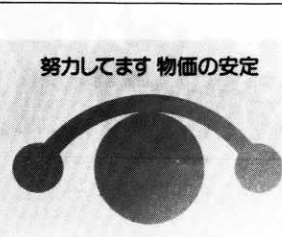
このように、「インチキ」内職の手口もさまざまですが、この被害を防ぐためには、内職を希望される方自身の注意が何よりも肝心です。だれにでもできる簡単な仕事で高収入が得られるというような「うまい話」は、普通はありません。内職を始めるときに、工賃その

他の委託条件を必ずきちんと確認する慎重さが必要です。



小売価格を据え置き

物価安定推進運動



努力して 物価の安定

「がんばって 願っています。物価の安定」——をキャッチフレーズに、ふだんの暮らしに関係の深い商品などについて、値段の据え置きを中心とした「物価安定推進運動」が行われています。

この運動は、商店街の小売店が自主的に選んだ商品について、そ

の値段を据え置いたり、割り引いたりするもので、二月十五日まで続けられます。

「少しでも消費者のみなさんに喜んでもらおう」という、いわば小売店からの「小さな善意の贈り物」といえます。

このように、小売店の自発的な善意の運動ですから、値段を据え置いたり、割り引いたりする商品は小売店によってまちまちですが、値書きピラなどで店頭に掲示されることになっています。

また、この運動に参加している小売店には、全国統一のポスターやステッカーがはられています。

おしらせ

交通災害共済

安い掛金で 大きな保証

万一事故にあったとき、簡単な手続きですぐ見舞金もらえるのが交通災害共済です。

掛金は、一人年三百円。共済期間は、五十七年四月一日から五十八年三月三十一日まで。

加入ご希望の方は、二月一日から受付しますので、役場町民課福祉係か協力委員の方に申し込みください。

災害共済金は、死亡の百万円を最高に、自賠法第一級の障害八十万円など、傷害の程度に応じて支払われます。

現在加入している方も、共済期間が三月三十一日で終了します。

建設工事入札資格

審査申請書受付

五十七年度において、町で実施する建設工事の入札参加資格についての資格審査の申請を、二月十五日から三月三十一日まで受け付けます。

町内業者で、建設業として登録を受けている方で、建設工事入札資格を希望する方は、所定の申請書に町税の納税証明書添付のうえ、町長あて提出してください。

秋田県農業基本

調査にご協力を

この調査は、毎年二月一日現在での本県農業の実態について調査し、県および市町村における農業行政諸施策の基礎資料を得ることを目的としています。

特に農家数、農家人口等、農業の基本的事項については握るものですので、みなさまのご協力をお願いします。

国民金融公庫 進学ローン

国民金融公庫では、入学金、授業料などの学校納付金、受験のための費用、下宿の敷金など進学に際し必要な資金として、進学ローンの貸付をいたします。

▽融資額 五十万円以内
▽利率 年八・五%（見込み、ただし利率は変わることがある）

▽所得制限 給与所得者は年間収入が五百六十万円以内、事業所得者は四百万円以内

▽返済期限 学校の修業年限以内
なお、前年までの一年間の収入が超える場合でも、当年の収入が制限以内となることを見込まれる時は、融資の対象となります。

くわしくは、国民金融公庫大館支店（電話 大館四一三三〇七）へお問い合わせください。

申請用紙は、役場企画財政課で一式三百円で交付しています。

2月7日(日) 薬師山で 第20回 町民スキー大会

開会式 9:00 競技開始 9:30



町民スキー大会も今回で満二十歳の成人を迎えました。誕生以来本大会までの経緯は、決して順調なものではなかったようです。しかし、最近ではスキー人口の増加と町営スキー場の整備と相まって、年々充実した大会に盛りあがりを見せてきております。

- 〔種目〕
 - ▽小学校4年以上(男・女) 大回転・距離
 - ▽小学校地区対抗リレー 男子リレー(2km×4人) 女子リレー(2km×3人)
 - ▽中学校大回転・距離
 - ▽青年男子大回転・距離(25歳)
 - ▽成年大回転・距離
 - ▽成年前期(26~30歳) 成年後期(31~35歳)
 - ▽壮年大回転・距離
 - ▽壮年前期(36~40歳) 壮年中期(41~45歳) 壮年後期(46歳)
 - ▽一般女子大回転
 - ▽一般女子前期(30歳)
 - ▽一般女子後期(31歳)
 - ▽一般女子距離

- ▽リレーの部
 - 成年リレー(35歳)
 - 壮年リレー(36歳)
 - そりリレー(20歳)男女
 - ▽みかんひろい
 - 〔連絡事項〕
 - ▽回転のポールセットは、前日に行いますので、セットしてからはコース内を絶対滑らないようにしてください。
 - ▽選手および監督は、大会までの体調を整え、スキーの安全点検を行い、けがや事故のないよう配慮してください。なお、流れ止めの着用を忘れないように願います。
 - ▽選手が競技中、応援者との接触事故がありますので十分注意してください。特に距離選手の伴走は、絶対しないでください。
 - ▽距離コースは二月四日(木)に町営スキー場ヒュッテにおいて発表します。

鷹巣体育館利用 申し込みを受け付

鷹巣体育館では、五十七年度(五十七年四月一日~五十八年三月三十一日)の体育館利用の申し込みを受け付けします。申し込み期間は、二月一日から二月二十八日まで。申し込み書は、鷹巣体育館(電話二一三八〇〇)にあります。申し込み期間後も受け付けはしませんが、二月中の申し込みが優先されます。

ふるさと 人物伝 19

三沢 富子

大堤の神社わきに、明治の有名な歌人三沢富子の歌碑がある。富子は文政三年、山本郡鶴川村(現八竜町)の素封家、三浦家に生まれ、十五歳のとき大堤の三沢彦右衛門に嫁ぎ、一男二女の母となった。三沢彦右衛門家はそのころ水田百十haを持つ大地主であった。

富子は三十一歳の時、夫彦右衛門が死去、富子は寡を守り、長男慶を将来学者にしようと、その頃藩の儒学者平元謹有の門に入らせた。家庭での母の訓えの効もあり俊秀の誉れ高く、十九歳で結婚、一男をもったが、不幸病を得て廃疾の身となった。うち続く不幸の中で、富子は近郷きつての豪農の家政万般を処理し、余暇を求めては書を独学し、歌を詠むことを楽しみとし、遂には独自の境地を開くようになり名高い歌人となった。明治二十二年、富子の古稀(七十歳)の祝いに「寄松祝」の題で全国数百の知名歌人から四百六十余首の祝歌が寄せられ、富子はそれを歌集にし、知っている友人たちに配った。富子の詠歌は

はかなしとなに思ひけん
世の中は
ただうたたねの
ゆめのうき橋

富子は近郷はもとより、中央に多く知られ、渡辺古溪、疋田孝子、村上波門、同秀子、宮内省御用掛富沢政恕などの歌人とともに歌道に精進した。同郷の高橋永助の孫が北海道で病死されたのを悼んで梅さくらまだこむ春を

ゆきてかへらぬ
身こそおしけれ

と、達筆をふるって書かれたこの歌は、綴子宝勝寺におさめられてある。

大正四年、九十六歳で亡くなられた。(資料・綴子村史並びに村上薫氏調査原稿)

(中央公民館長 長崎 久)





三吉神社にしめ縄奉納

太平山三吉神社（元町）で、1月10日地元町内の人たち50人が参加して、しめ縄づくりが行われました。同神社では、毎年新春にしめ縄をつくって奉納するならわしになっていますが、ことしも町内の長老、若衆が付近の作業小屋に集まり、長老の指導で2時間を費やして、直径50センチ、長さ4メートルの立派なしめ縄を完成させ、神社の正面に奉納しました。

農事組合法人鷹巣養豚組合（佐藤時治組合長）では心身促進事業の一環として柴字びわ田に福祉施設「みちのく希望厚生園」を、このほど完成させました。

同組合では20年前から心身障害者を雇用し、社会復帰の足がかりとして養豚の世話をしながら生活指導をしてきましたが、入園者が35人に増えたことから、総工事費1億5千万円を投じて新築したものです。

「みちのく希望厚生園」が完成



スキー教室で豆レーサー力走

教育委員会では、冬季間の体力つくりと、スキー技術の向上を図るため、カントリースキー教室を開催。1月6日から10日までの4日間、大野台ハイランドで町内の小学校から120人が参加して行われました。

豆レーサーたちは、パスカグ、段滑走など平地滑走を主に基礎トレーニングで汗を流し、心配して駆けてきた父兄の声援をうけて、力走していました。



町芸術文化協会（朝日了回会長）では、恒例の新年交流会を1月16日午前6時30分から中央公民館で開催。

交流会には、出川町長、村上議長はじめ120人の会員が参加しました。朝日会長は「昨年は各団体が意欲的に事業を計画し芸文活動が定着した。ことしは、さらに生涯学習、教育を高めたい」とあいさつをして、芸文活動の躍進を誓いあっていました。

芸文の躍進を誓って交流会



公民館のついで

新しい年の幕あけをつける「全町書きぞめ大会」が、去る一月五日体育館で行われました。



体育館を会場にしてから、今年で三回目になります。例年に比べて、やや少なめでしたが、それでも、新年の決意を筆にたくした人達二百人が集まり、熱気のある大会になりました。

昨年までと違った点は……

- ▽参加者の練習時間を設けた事です。五人の指導者だけでは、十分細かい所までの指導は無理でした。参加者には好評でした。
- ▽賞区分(館長賞、入選、参加賞)を変えて、金、銀、銅賞とし、参加者全員に賞状をあげ、賞品を廃止した事です。
- いずれにしても、コンクリールの意識を無くし、書きぞめ本来の姿に……というのがねらいですが、

学級紹介

鷹舟婦人学級

舟見町は、数年前から、戸数の増加が目立っています。しかし、新しい人が増えれば、どこにも見られる現象ですが、住む人達が、明るくにこやかに挨拶ができなくなりました。

そこで私達は、主婦の和と教養を深めることを目的に、昨年の十月に、鷹舟婦人学級を誕生させま

した。誰れもが参加でき、無理のない学級にしよう。現在五十一人の方々登録しています。年度半ばからの活動ですが、今までやってきた内容を二、三紹介します。

婦人の健康、大豆の使いみち、それに正月用生花などを学習してきました。学習の前には、家庭の嫁姑の問題、子どもや孫の話が中心で、その事もまた大変意義のある勉強会になります。



会長 相馬アヤ子

まだまだ親の方が熱くなり、ハッスルする場面が、所々で見うけられました。

大会後、講師の先生(成田稔氏、長岐瑞彦氏、伊藤静夫氏、奈良三

次美氏、佐藤芳夫氏)から、次のような、反省点が出されました。

- ◇文字の大きさに合った筆、下敷きを用意してほしい。
- ◇このような機会に、一度は条福を経験させた方がよい。
- ◇条福の場合は、硯でなく墨滴入が良い。
- ◇指導時間(今年は一時間)がもつとほしい。できれば、指導者も各学年一人位つけるようにしたら効果がある。
- ◇賞状作成などの点から、当日受けをしないで、事前に締切った方がよい。
- ◇参加者の態度は、年々良くなっているが、一般の参加者が少ない。

郷土史年表

西暦	大正	時	代	事	項
一九二五	大正一四			<ul style="list-style-type: none"> ○四月 鷹巣官林署設置・官林署から農林学校までの道路を開く。 ○四月二十二日 治安維持法公布。 ○五月五日 衆議院議員選挙法改正(次期総選挙から、普通選挙制度を採用) ○五月十二日 栄橋竣工、開橋式を行う。 	
一九二五	大正一五			<ul style="list-style-type: none"> ○東京放送局でラジオ放送開始。 ○七月一四日 小森に火災があった。 ○八月五日より三週間にわたって鷹巣神社境内で夏季保養所を開設、収容児童、四二名。 ○十月十五日 皇太子殿下、本県へ行啓。 ○十月 鷹巣少年赤十字団創立。 ○第二回国勢調査実施・鷹巣町人口三、七九七人、戸数六四〇戸(旧町) ○貯木場設置。 ○十月八日 鷹巣小学校で巖谷小波の童話を聞く。付近の学校児童約千人余が入場した。 ○十一月五日 前田村庄司家・小作料引き上げを発表、小作人争議に入る。 ○十一月一四日 坊沢小学校観音堂併分校の校庭拡張作業を終る。一六四人三二八円。 ○一月二十三日 東北大学、喜田貞吉博士が藤株部落の石器調査に来る。 ○尋常小学校の算術書にノートル法が採用される。 ○二月十一日 鷹巣小学校八教室増築完成。 	

(次号へ続く)

みんなの広場



やつで

葉の切れこみを八つの手にとえている。暖地の低木。鷹巣地方で植栽。

(理科センター・阿部達雄先生)

子供の

こづかいに思う

脳神 畝田 富士子 (38)



小中学 校時代、父親の事業の失敗、兄の病死、母の病気等のため、食べるのがやつとの生活で、私には物心つく頃からこづかいを手にした記憶などありませんでした。

奨学資金とアルバイトをして、自力で高校へ通い、必死に働いて手にしたお金は貴重なものでした。

それゆえこつこつと努力して築いた現在の生活は、ささやかな幸せだがとてもありがたく思えるのです。だから物を粗末にしたり、こづかいをもらう事を当然の権利と主張する子供に、怒りさえ感じ、口やかましく「無駄使いするな」と言いたくなります。

子供に甘い主人は彼らの希望を八分通り受け入れ、毎月決まった額を与えているが、その時に父子のコミュニケーションが生まれ、お互いに楽しみにしているようなので、私は黙って見ている事にしています。また子供にいい面だけ見せようとはせず、苦しい事、みにくい事、経済状態も生活のすべてをさらけ出し、その中で子供自身に考えさせるようにしています。

わたしのおばあさん

わたしのおばあさんは、はたらきものです。夏は、はたけに行つてやさいを作り、今はよそのうちに、おてつだいにいっています。おかあさんが、おつとめしているの、ごはんしたくもします。しごとが早くおわると、ときど



広報のしおり

コレステロール コレステロール

成人病の引きがねになる悪役的印象が強いのではないだろうか。たしかに心臓疾患の予防には、増やさないように気をつけることが大切ですが、しかし、コレステ

親として子供に不自由な思いをさせたくないと思うのは当然であるが、物が豊かでお金さえ出せば何でも手に入る現代、しかもこづかいは簡単に手に入る、そうなれば努力する必要がなくなり、浪費家で、何でも金で解決できると考えるような大人になるのでは...。その家庭によって金銭の価値観は違うと思うが、正しい金銭教育を通して、我慢強く計画的に生活できる子供を育てるのは、すべての親の義務であると思います。こづかいやお年玉の額を他人と比べる必要はなく、まして親の見栄で高額を与える事は慎むべきであり、その子に合った与え方をしているかどうか、今一度考えてみる必要があると思うのです。

きぬりえをしたり、ゲームをいっしょにあそんでくれる、やさしいおばあさんです。



綴子小学校2年 成田わか子

ロール値が余り低くなりすぎると、脳出血を起しやすくなることも指摘されています。やはり専門医にコレステロール値をチェックしてもらい、正しい対処のしかたを仰ぐのが賢明です。また、コレステロールにも、「善玉」と「悪玉」があり、善玉コレステロールは血管壁にたまって動

脈硬化を促進させる、悪玉コレステロールをとり去る働きをします。適度の飲酒、運動などによって増やされ、肥満、糖尿病などを減少させるといわれています。血液中に善玉が多いほど体には有利で、心臓病の予防には、食生活管理と運動が大きな意味をもっているのもこの点にあります。

たかの寸文芸

ミニスキー

中央小学校六年 畠山節子

ミニスキーを買った
毎年すべっていたので
少しは、自信があった
元気よく外へ出たとたん
ツルツとすべってびっくり
近くの物につかまった
ミニスキーはこんなにすべるのか
坂までいくのもひと苦勞
やつと坂に着いてすべった
なお子さんは
回転することもできる
私は、へんな所へつっこんだりする
さっきまでの自信はもうぜんぜんない
でも、何回もすべっているうちに
ちよっぴりうまくなった

おしらせ



一線美術会委員 九島素二氏

二月の健康相談

二月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、十日と二十四日です。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

フッ素イオンむし歯予防は、三日です。時間は、午前十時から午後三時まで。対象者は満三歳児以上の幼児で、おいでの際は母子手帳を忘れずにお持ちください。

妊婦健康相談は、一日と十五日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの際は母子手帳を忘れずにお持ちください。また、今月の母親学級は、母乳栄養と妊娠中毒について。

時間は、午前十時から十一時まで。場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

乳児健康相談は、十八日、五十六年十月生まれとなっています。受付時間は、午後一時から一時三十分まで。

離乳食実習指導は、十八日、五十六年七月生まれとなっています。受付時間は、午前九時三十分から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

場所は、いずれも鷹巣保健所です。

一歳六カ月児健康診査は、四日、五十五年六月、七月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時半まで。中央公民館ホールで行いますので、母子手帳と問診票を忘れずにお持ちください。

妊婦訪問

未熟児や異常児の出産を防ぐため、保健婦(助産婦)による妊婦訪問を行います。

二月は、▽五日、▽七日、▽八日、▽十二日、▽七座、坊沢地区

▽二十六日、綴子地区となっています。訪問時間は、午前九時から午後四時まで。

麻疹(はしか)の予防接種

麻疹(はしか)の予防接種を、二月二十二日から二十五日まで左記のところで行いますので、この期間に接種を受けてください。

今回の対象者は、五十七年二月二十二日現在で生後十八カ月から三十六カ月に至る幼児(ただし、生後十二カ月から七十三カ月に至る幼児は受けられません)となっています。

五十七年六月二十日までに七十二カ月に至る幼児も含まれます。

接種時に必要な接種券の交付を受けていない保護者は、二月一日から二十日まで、役場衛生係へ母子手帳、印鑑を持参しておいでください。

接種受付時間は、いずれも午後一時から二時まで。22日、藤原医院、23日、奈良良院、24日、しま医院、25日、北秋中央病院

※接種料金は一人三千七百四十七円は、全額町で負担します。※接種する時は、接種券・母子手帳・問診票を忘れずにお持ちください。

停電のおしらせ

二月の作業停電は、次の地区です。

中学選抜柔道大会

第二回鷹巣町長杯争奪「県北中学校選抜柔道大会」は、二月十四日(日)午前九時から鷹巣中学校武道館で開かれます。

善意

▽鷹巣教会幼稚園から、クリスマス献金の二〇、〇〇〇円

▽小森、佐藤公正さんから二、六八八円

それぞれ社会福祉のためにと、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

香典返し

ご芳志に深く感謝いたします。

このほど次のかたから、香典返しに町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

▽藤株、本城清一さんから亡父と吉さんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽東横町、大川義さんから亡母スエさんの香典返し



1月1日〜1月15日

誕生おめでとうございます。

相馬江梨子(周四郎長女)掛泥石井 美佳(正司 長女)前野照内 喜子(松雄 長女)糠沢

二人の前途を祝福いたします

おくやみ申しあげます

大川 スエ(74歳) 東横町
今川 忠一(60歳) 糠沢
岩川作右衛門(83歳) 住吉町
村上 ヨシ(77歳) 掛泥
田村 正一(79歳) 坊沢大町
藤田久三郎(83歳) 黒沢
松尾 ツ子(80歳) 摩当
成田 フヨ(61歳) あけほの町
工藤 ヨシ(90歳) 松葉町